

研究成果（3－4）

サブテーマ名	人の注視方向の検出技術		
小テーマ名	注目情報とマーケティング調査の研究		
サブテーマリーダー	財団法人ソフトピアジャパン	雇用研究員	本郷仁志
研究従事者	立命館大学 教授	共同研究員	長沢伸也
<p>1 研究の概要、新規性及び目標</p> <p>① 研究の概要 本研究では、興味の有無を選ぶタスクによる視線の動きデータを収集、分析することで、マーケティング調査のカテゴリーとして、ブランドと購買行動の関係を検証する。 検証方法として、注視点数のコンジョイント分析とアンケート調査（AHP、コンジョイントカード）との相関について検討した。 その結果、消費者層をセグメンテーションすることで、注目情報と消費者の本音の相関関係を得た。</p> <p>② 研究の独自性・新規性 視線計測と、コンジョイント分析、AHP を用いて、ブランドが消費者の購買行動に及ぼす影響を実証した。これは広告の評価システム、消費者の意識の奥底を知ることのできるアンケート調査に活用できる。 また、商品に対する生理的な反応と消費者の論理的な意識や実際の商品選択行動の相違を定量的に測定した、他に例のない研究である。</p> <p>③ 研究の目標 商品の人気度や魅力度、市場性を評価できる汎用化された視線計測システムのための基礎を構築し、視線計測システムによるマーケティング調査への応用展開の基盤とする。 注目情報は消費者の購買心理や嗜好の関連性の知見を得る。 視線計測と本音（アンケート調査）の相関関係80%以上のセグメントを抽出する。 消費者の購買行動に及ぼすブランドの影響を客観的に評価する方法を得る。</p>			
<p>2 研究の進め方及び進捗状況</p> <p>データ収集、コンジョイント分析が行えるよう、画像の提示と視線データの計測方法を検討する。 被験者に画面を見ながら選好をしてもらい、視線データを計測する。 AHPのアンケートにより被験者の建前を調査する。 コンジョイントカードの机上での並べ替えによる順位データを取得してコンジョイント分析による被験者の本音を調査する。 フェースシートにより被験者の実態調査を実施する。 データ分析、視線計測による被験者の生理計測をするうえで、有効な計測方法とデータ処理方法を確立する。 コンジョイント分析による消費者の本音と、視線の相関関係を調査する。 クラスタ分析により被験者をセグメンテーションし、各セグメント毎に本音と視線の相関関係を調査する。 フェースシートによる被験者の層別に、本音と視線の相関関係を調査する。</p>			

3 主な成果

具体的な成果内容

視線検出実験時のタスク（正の興味－負の興味）の視線処理方法において、視線と本音の分散寄与率の相関関係があるセグメントでは、全被験者86人中75人（87%）において、視線と本音が一致している結果が得られた

実験分析の結果、以下の知見を得た。

消費者の視線の興味度において、マーケティング調査に適している被験者は、態度レベルと行動レベルが一致している被験者、すなわち建前と本音が一致しているものと言える。

クラスター分析による被験者のセグメンテーションにおいて、「価格」、「ブランド」及び「デザイン」を重視しているセグメントに属している者は、視線を計測することにより、本音を推測することが可能である。

フェースシートによる層別のクロス集計において、ブランドへの意識と行動が一致している被験者は視線データのみで机上コンジョイント分析と同様の結果を得ることができると考えられる。

特許件数：0 論文数：0 口頭発表件数：4

4 研究成果に関する評価

① 国内外における水準との対比

眼球運動視線計測は心理学・生理学の分野に研究例があるが、消費者の意識や商品選択行動といったマーケティングを定量的に結びつけた研究は他にない。

② 実用化に向けた波及効果

消費者の注目情報から商品の人気や魅力、市場性評価を数値化することにより、視線計測システムによるマーケティング調査への応用展開が期待できる。

5 残された課題と対応方針について

他の商品カテゴリーにおける計測、解析を行うことにより、システムの信頼性を高める。

	JST負担分 (千円)							地域負担分 (千円)							合計
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	小計	H11	H12	H13	H14	H15	H16	小計	
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究費	0	0	0	1,057	0	0	1,057	0	0	0	0	0	0	0	1,057
旅費	0	0	0	147	0	0	147	0	0	0	0	0	0	0	147
その他	0	0	0	796	0	0	796	0	0	0	0	0	0	0	796
小計	0	0	0	2,000	0	0	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000

6 代表的な設備名と仕様

① JST負担による設備

② 地域負担による設備